



2023年12月6日

牛久市議会議長

諸 橋 太一郎 様

件 名 下水道料金の値上げ中止を求める請願書

紹介議員

氏名

大 森 和 夫

請願者

住 所

牛久市

氏 名

日本共産党牛久市委員会

市委員長

他 335

人

電 話

1. 件 名 下水道料金の値上げ中止を求める請願

2. 請願の要旨 2024年4月からの下水道使用料金の値上げ中止を求めるもの

3. 請願理由 牛久市は、2023年6月議会に下水道料金の値上げ案を提出し、議会は継続審査の判断をしました。しかし、8月23日の臨時議会で継続審査となっていた下水道料金値上げの採決が行われ、賛成17:反対3で可決されました。平均で30%の大幅値上げです。さらに市民への十分な説明もないまま、一方的に広報うしくで知らせるなど、市民からも納得できないと意見が寄せられています。

現在も食料品などの物価高騰が続き、値上げは市民生活に追い打ちをかけるものです。2022年に水道料金が値上げとなり、今回の下水道料金の値上げは市民生活に多大な影響を与えます。水道とともに下水道は市民生活に欠かせない社会インフラだからです。

値上げの理由は、平成9年から25年間下水道使用料を値上げしてこなかったこと。今後、管渠、ポンプ場の施設維持管理費用、老朽化による更新費用等がかかるためといいますが、下水道会計は、雨水処理は公費(一般会計)、汚水処理は私費(下水道使用料)で賄うとされています。

しかし、本来、下水道整備など生活に欠かせないインフラ整備は、国および自治体の責任で行うべきものです。都市計画税は目的税で使い道が定められており、道路事業、土地区画整理事業、公園事業とともに下水道事業にも掲げられています。

公営企業として、国や県、市の関連も含めて事業費の捻出をすべきであり、市民負担を行わないよう求めるものです。